

## 2、目標達成計画

事業所名 グループホームやまだ桜の郷

作成日 令和 5 年 4 月 16 日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	「運営推進会議」について、近年はコロナ感染拡大防止により、職員のみで開催し、その内容は市や地域包括支援センターに報告してきたが、コロナが落ち着き始めており、近々にも地域代表者やご家族を交えての会議の必要性が求められる。	利用者やサービスの実際、また今後の支援の在り方、取り組みなどの今後の計画などを市や地域代表者、家族の方々に説明しつつ、理解、指導を仰ぎ、さらなるサービスの向上に努めていく。	地域代表やご家族に、「運営推進会議」の設置目的や皆様のご意見を聞かせて頂くことの重要性を改めて説明し、ご理解を頂いていく。	すでにこの度、今年度4月27日(木)に、市の関係職員とご家族を交えた「運営推進会議」の開催を決定しており、現在、関係者に依頼状を送付し、ご家族にあっては返信待ちの状況にある。今後も継続し、計画的に実施開催していく。
2	10	運営に関して、利用者や家族が、サービスや行事等への意見や要望をもっと積極的に表し、また管理者や職員は、利用者や施設の状況を、より細目に家族や外部者に表し、それらを運営に反映させることが求められる。	利用者や家族が、日頃から要望等を施設職員に伝えやすい環境作りとともに、利用者の日頃の状況や施設の行事などのサービスの実際を詳細に、さらには定期的にご家族や外部者に表出し、さらなるサービスの向上に努めていく。	家族から、「できるだけ歩かせてほしい」、「コロナ禍であるが、いつ面会できるのか」などの要望が寄せられており、職員は丁寧に応えているが、さらに、利用者のホームでの暮らしぶりを伝えつつ、理解や安心を得て頂くため、電話だけでなく、「ホームだより」なる紙面媒体を作成し、写真と文章で家族や部外者の方々に送付していく。	すでにこの度、3月末より、そうした媒体(A4/1頁)を作成し、ご家族には送付した。今後も継続し、計画的に作成実施していく。またご意見等も積極的に頂いていく雰囲気づくりも同時に行っていく。
3	37	火災や地震、水害等の災害時を想定し、年2回の防火避難訓練を実施し、避難経路の確認や初期対応の利用者、職員ともに訓練を実施しているが、その際の持ち出し重要書面や備蓄台帳の持ち出し、さらには備蓄確保そのものについて話し合い、業務が継続可能となる方途を作成していくことが求められる。	火災や地震、水害等の災害時、業務継続のための重要書面や備蓄台帳の持ち出し、さらには備蓄の確保そのものについて話し合い、その方途を作成していく。	管理者、職員でその必要性を確認するとともに、具体的に何が優先順位を決め、どこに何があるのかの確認と、その台帳の作成とともに、すぐに持ち出していける日頃からの心構えと体制作りを進めていく。	早期実現を目指し、まず職員間でのミーティングを実施し、関係部署との話し合いも必要であり、半年をめぐりに早期実現を目指し、訓練においては継続的に実施していく。